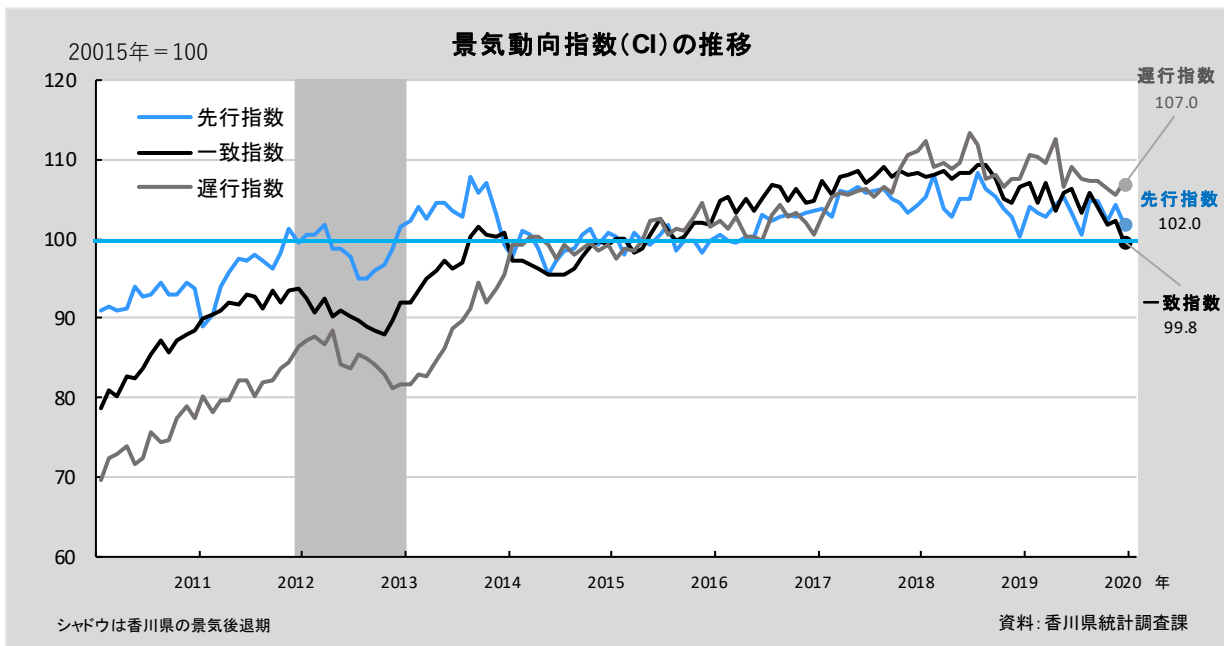


概況	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響で一段と弱い動きが続いている。
個人消費	大幅に減少している。
住宅投資	弱めの動きとなっている。
公共投資	緩やかに増加している。
生産活動	弱めの動きとなっている。
雇用情勢	求人減により弱まっている。
貿易	輸出は横ばい、輸入は減少している。
観光	新型コロナウイルスの影響で急激な悪化が続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 先行指数 2カ月ぶり下降



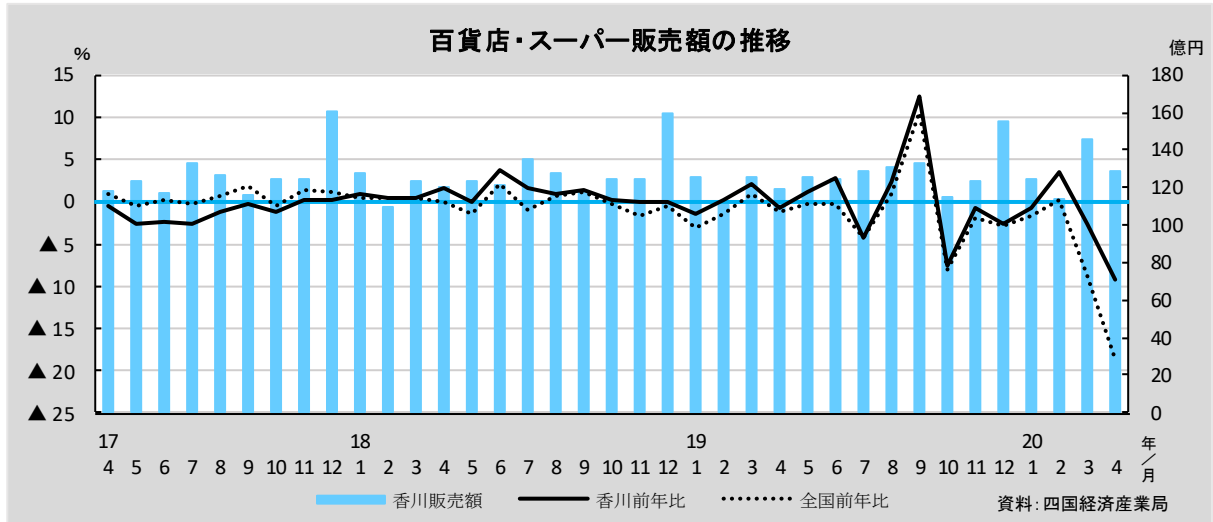
景気の現状をみると、3月のCI一致指数は99.8（前月比▲2.5ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI先行指数は102.0（同▲2.4ポイント）と、2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は107.0（同+1.5ポイント）と3カ月ぶりに上昇。

景気の先行きを示す先行系列の個別指標では、新規求人数、消費者態度指数、金融機関貸出残高等が下降に寄与したことにより、前月から2.4ポイント下降した。

先行系列		寄与度	一致系列		寄与度	遅行系列		寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 1.75	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.10	1 常用雇用指数	▲ 0.28		
	2 乗用車新車登録台数	0.36	2 有効求人倍率	▲ 1.31	2 有効求職者数	1.69		
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.03	3 所定外労働時間指数	▲ 1.06	3 消費者物価指数	0.45		
	4 生産財生産指数	0.30	4 鉱工業生産指数	0.65	4 家計消費支出	▲ 1.28		
	5 新設住宅着工戸数	0.67	5 鉱工業出荷指数	0.82	5 鉱工業在庫指数	0.50		
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.20	6 建築着工床面積	▲ 0.16	6 法人事業税調定額	1.49		
	7 消費者態度指数	▲ 1.75	7 百貨店・スーパー 既存店販売額	▲ 1.33	7 第3次産業活動指数	▲ 1.12		

●百貨店・スーパー販売額

2カ月連続減少



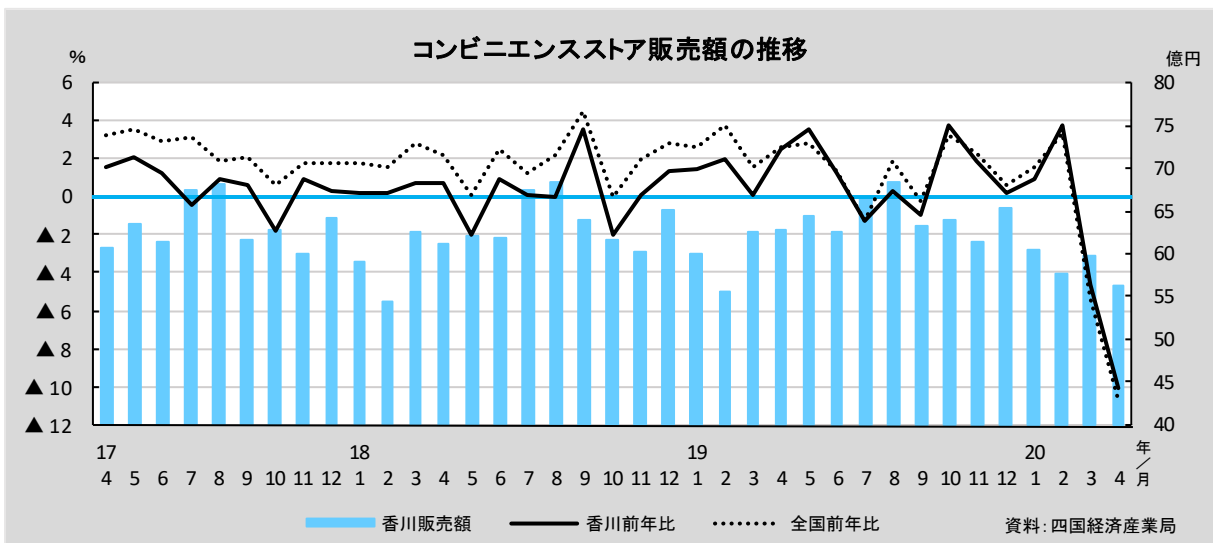
2020/4月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	45,990	25,377	1,028,492	1,413	4,862	87,376	96,563	173	1,290,246
前年同月比(%)	▲66.4	▲60.1	3.6	▲36.7	▲30.3	12.5	▲29.4	▲80.2	▲9.3

4月の百貨店・スーパー全店(84店)の販売額は129.0億円で前年同月比▲9.3%となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けて、百貨店は休業、スーパーは入店客が減少し、2カ月連続で減少した。

品目別にみると、「衣料品」は同▲66.4%、「その他の商品」は同▲29.4%と大幅に減少した。「飲食料品」は冷凍食品や麺類などが好調で、同+3.6%となった。


●コンビニエンスストア販売額

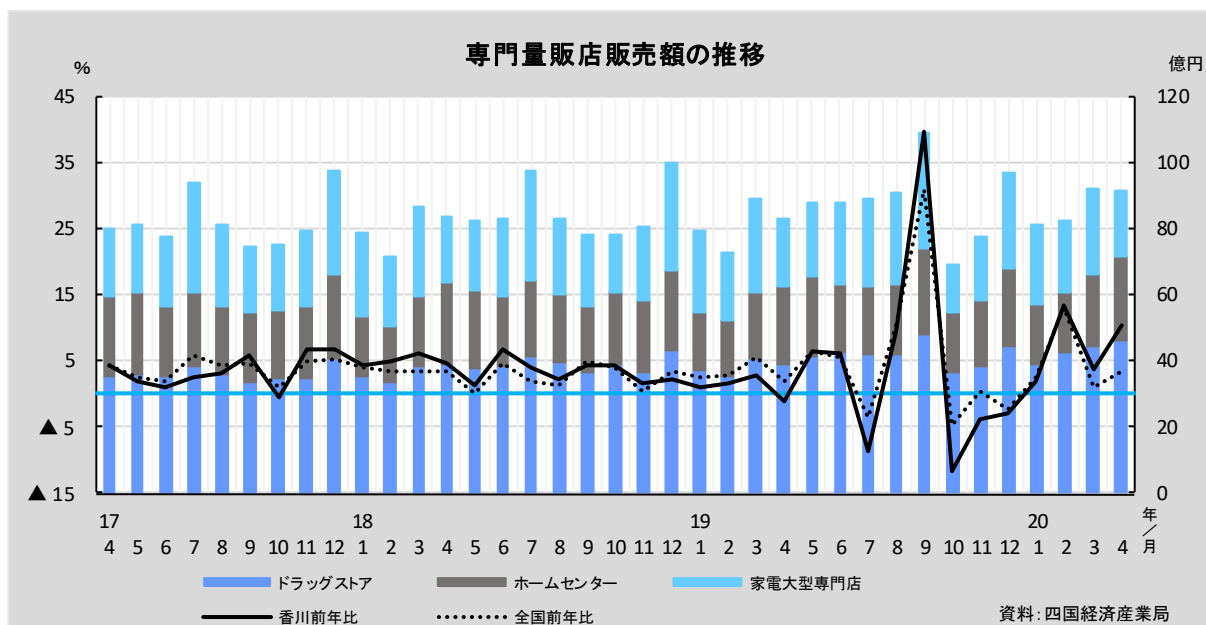
2カ月連続減少



4月のコンビニエンスストア全店(408店)の販売額は56.4億円で、前年同月比▲10.1%と2カ月連続で減少した。

● 専門量販店販売額


4 カ月連続増加 

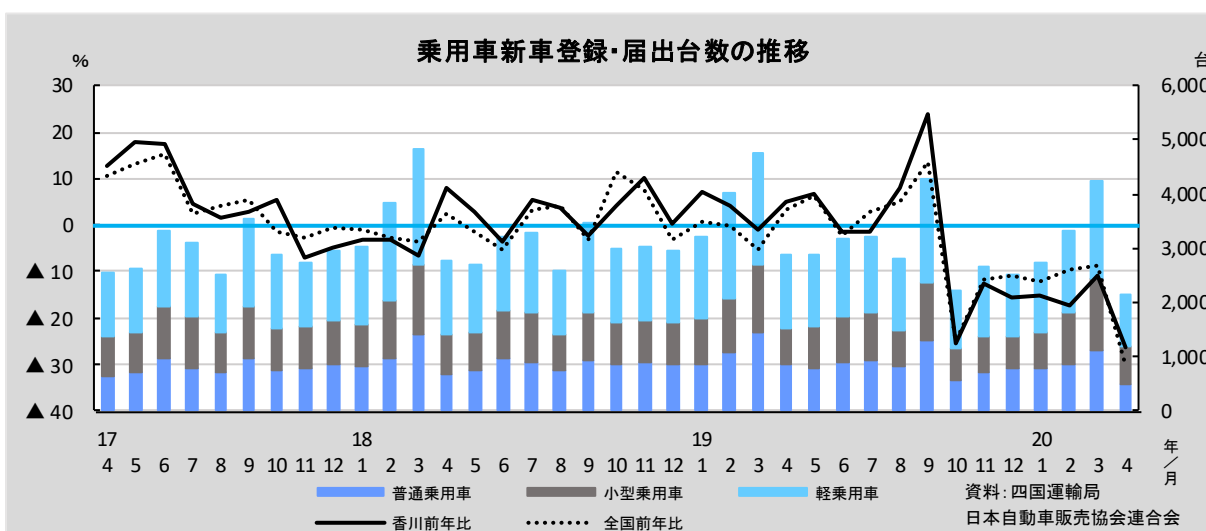


4月の専門量販店全店（196店）の販売額は91.5億円で、前年同月比+10.5%と4カ月連続で増加した。

業態別にみると、新型コロナウイルス感染拡大による外出や広告・宣伝の自粛で**家電大型専門店**（29店）の販売額は、19.7億円で前年同月比▲2.6%となった。一方、新型コロナウイルス感染予防策としてマスクや除菌剤などが引き続き好調な**ドラッグストア**（125店）の販売額は、46.4億円で同+19.9%。**ホームセンター**（42店）も同じく衛生用品が好調で、販売額は25.4億円で同+6.3%となった。

● 乗用車新車販売台数

7 カ月連続減少 



4月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,137台で、前年同月比▲26.3%と、7カ月連続で2ケタ減少となった。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛で販売店客数の減少が影響した。

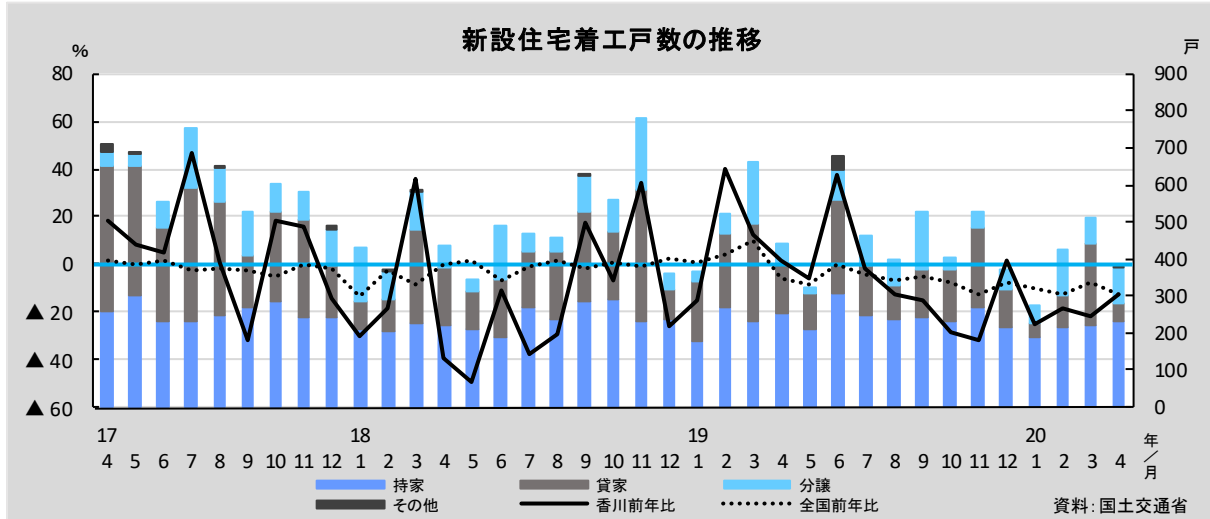
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲44.3%、小型乗用車で同+7.8%、軽乗用車で同▲31.6%となった。

住宅投資

弱めの動きとなっている

●新設住宅着工

4カ月連続減少



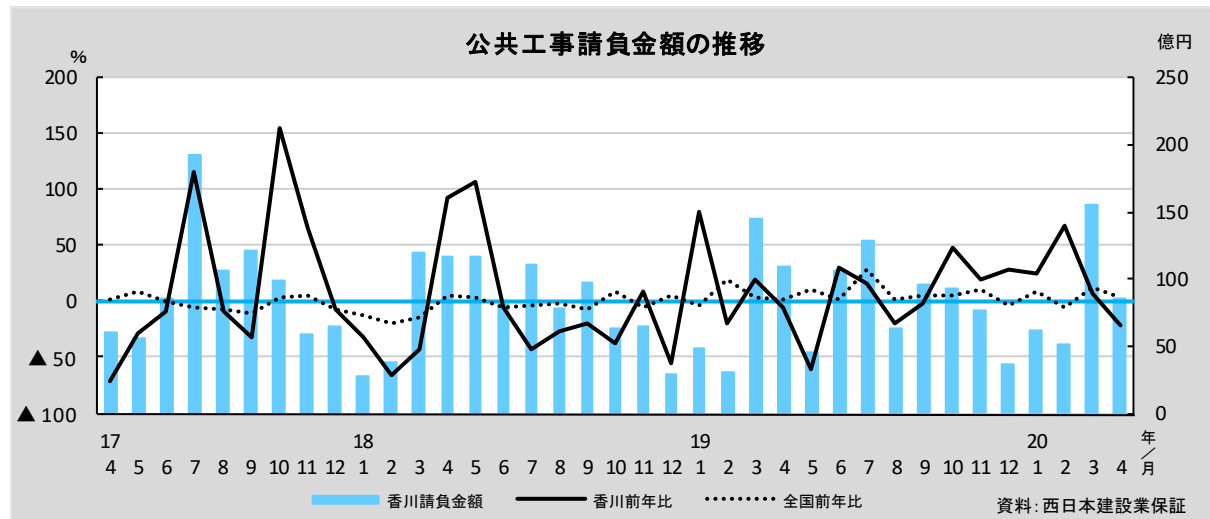
4月の新設住宅着工戸数は384戸で、前年同月比▲12.7%と、4カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲8.4%、**貸家**で同▲64.7%、**分譲住宅**で同+100.0%となった。

公共投資

緩やかに増加している

●公共工事請負金額

7カ月ぶり減少



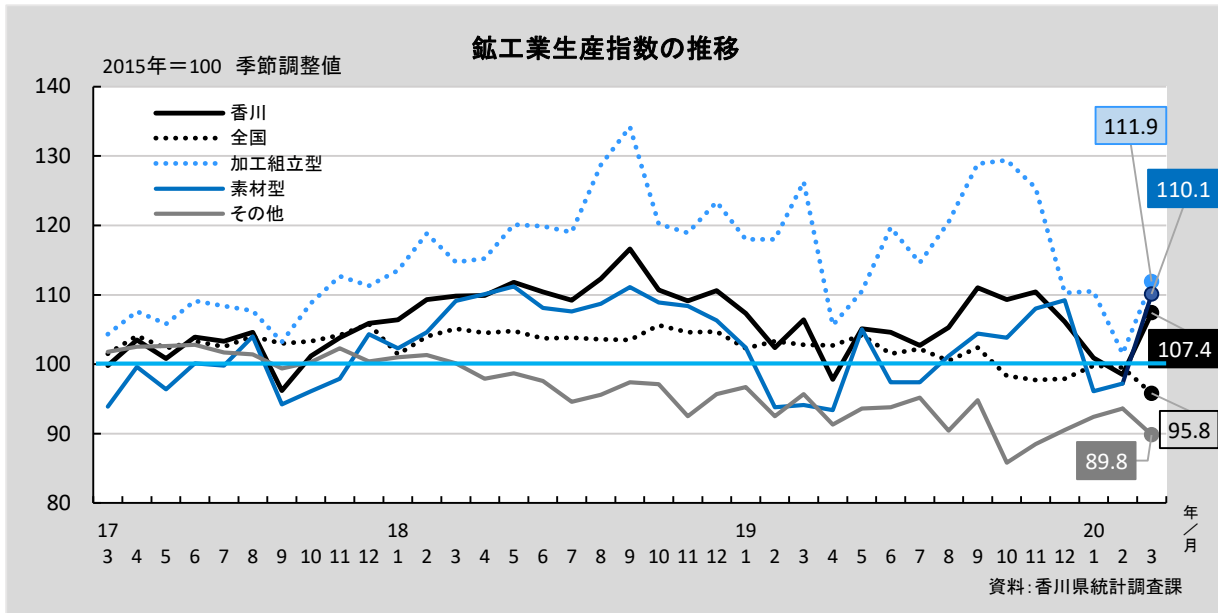
4月の公共工事請負金額は86.1億円で、前年同月比▲21.7%と7カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲28.3%、**県**で同▲73.6%、**市町**で同+5.4%となった。

生産活動

弱めの動きとなっている

● 鉱工業生産指数

4カ月ぶり上昇 ↑



3月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は107.4（前月98.5）となり、4カ月ぶりに上昇した。

業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品）は前月比+31.8%、素材型の非鉄金属工業（電気金）が同+30.6%と上昇した。

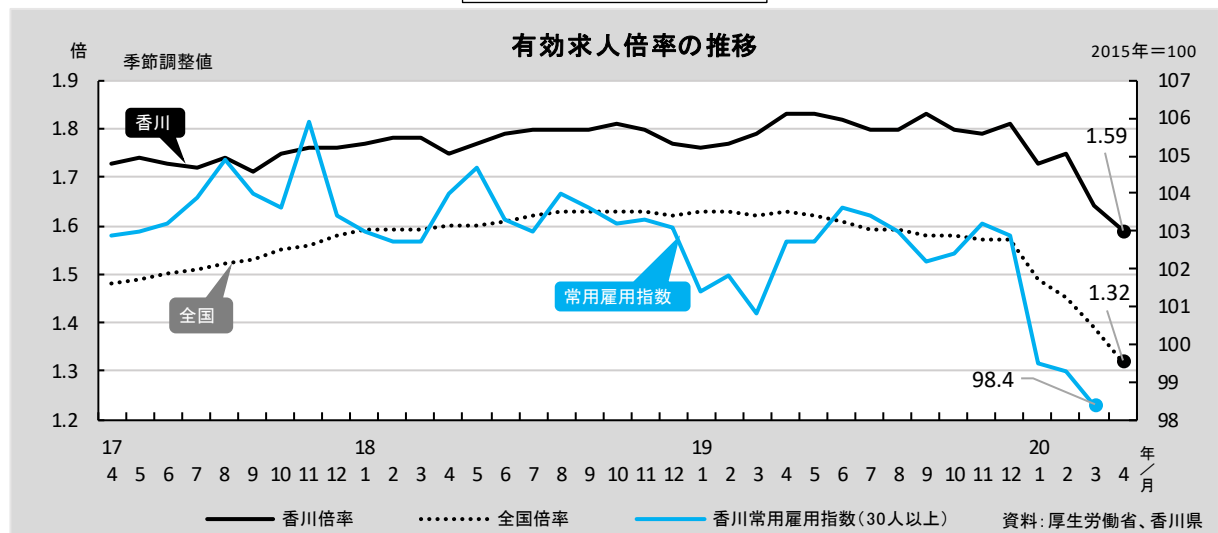
一方、その他業種の食料品工業（食用油）は同▲6.0%と低下した。

雇用情勢

求人減により弱まっている

● 有効求人倍率

2カ月連続低下 ↓



4月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.59倍（全国5位）と前月より0.05ポイント低下した。

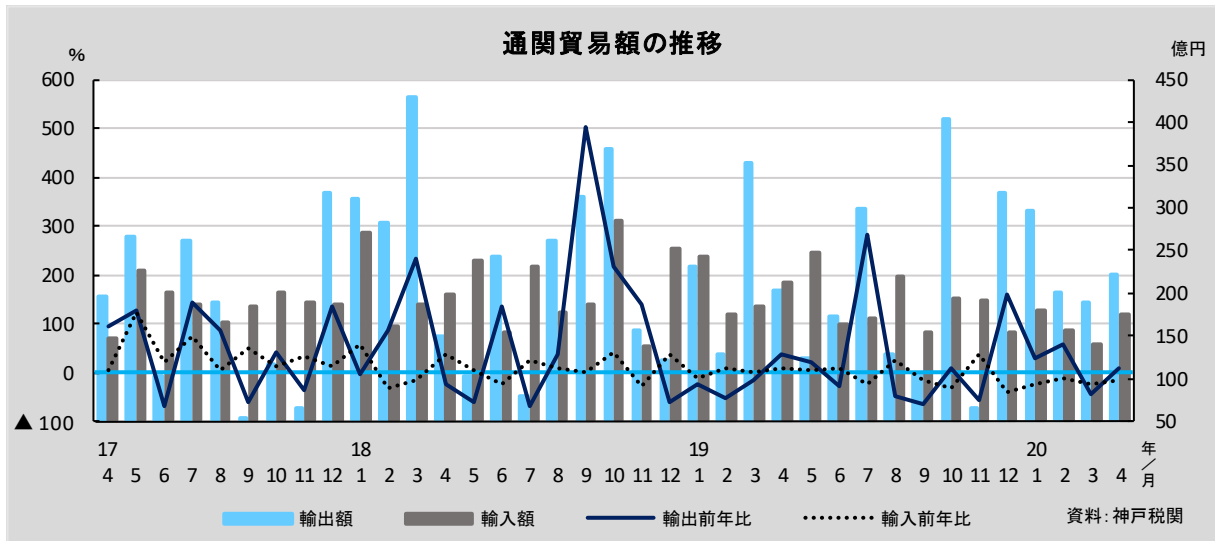
新規求人（原数値：前年同月比）は、卸売業・小売業、製造業をはじめ、ほとんどの業種で減少となり、全体で29.6%減と4カ月連続で減少した。

3月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、98.4となり、前年同月比は8カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.02
事務的職業	0.52
販売の職業	2.70
サービスの職業	3.44
生産工程の職業	2.37
輸送・機械運転の職業	2.38
建設・採掘の職業	7.51
運搬・清掃・包装等の職業	0.97

貿易

輸出は横ばい、輸入は減少している



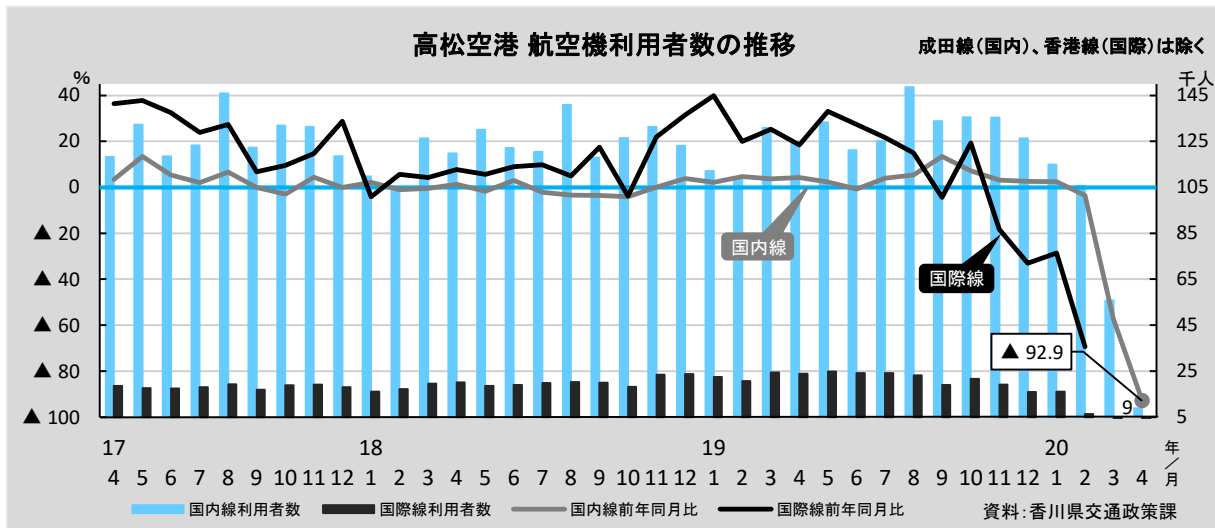
4月の輸出額は前年同月比+9.3%の220.7億円、輸入額は同▲16.9%の175.8億円となり、差し引き44.9億円の出超となっている。

輸出額増の主因は、貨物船輸出額が前年同月比+283.3%の132億円となったためである。輸入額減の主因は、石炭輸入額が前年同月比▲35.0%の48億円となったためである。

交通

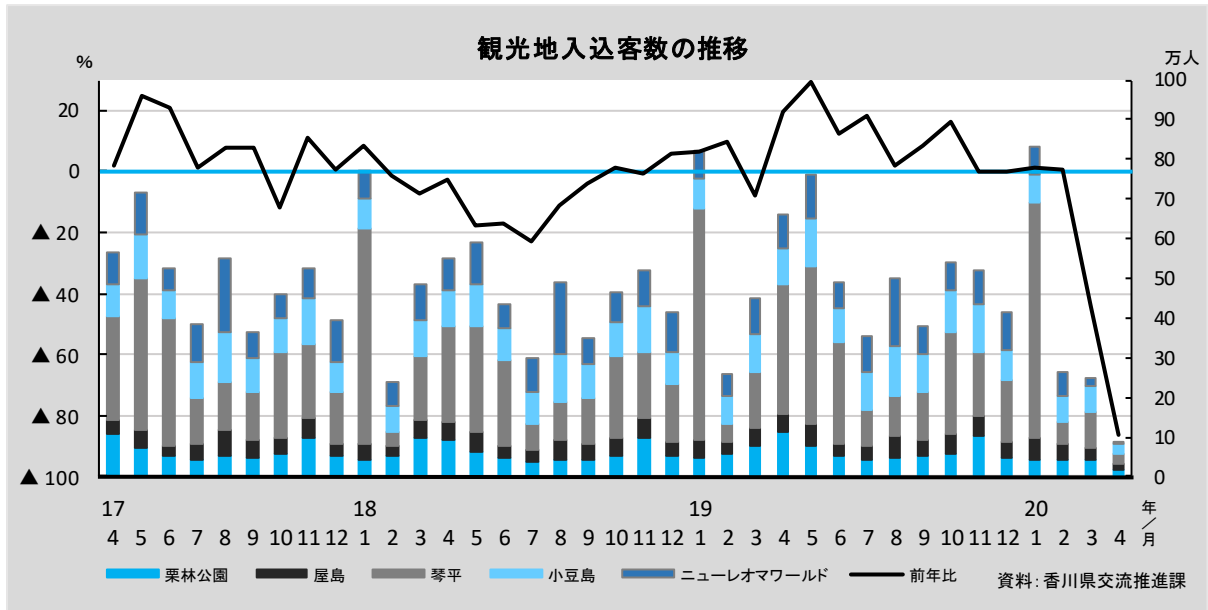
国内線は3カ月連続減少、国際線は全面運休

●高松空港旅客輸送実績



4月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が8,859人(前年同月比▲92.9%)となり、3カ月連続で減少した。国際線(ソウル・上海・台北線)は新型コロナウイルスの影響により全面運休となり、2カ月連続で0人。

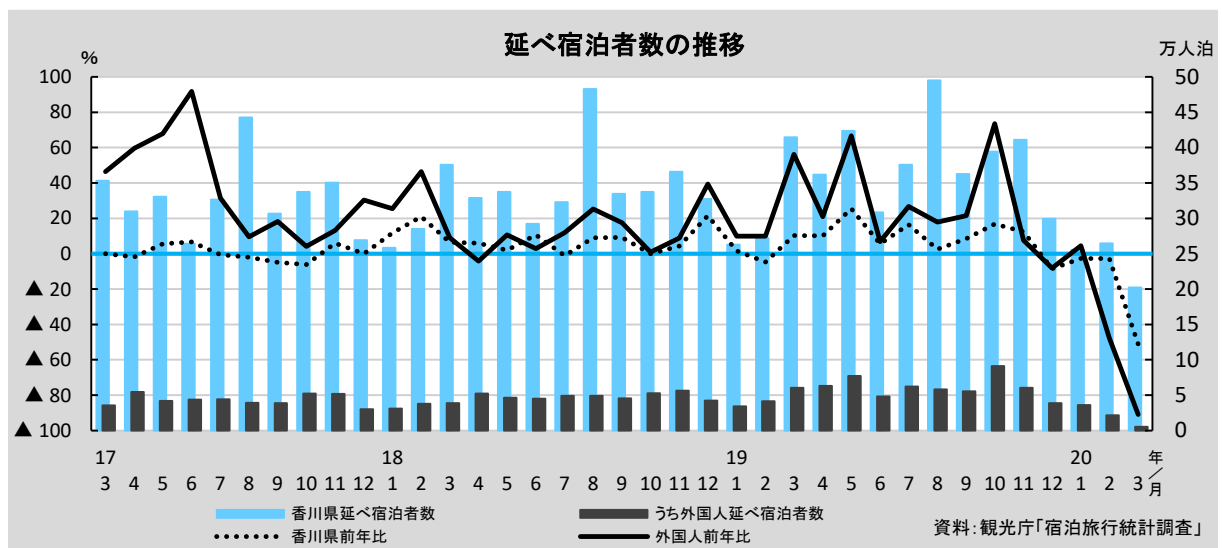
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	ニューレオマワールド	合計
4月(人)	前年同月比	17,634 ▲84.5%	16,072 ▲63.4%	22,000 ▲93.3%	28,452 ▲69.0%	5,413 ▲93.5%	89,571 ▲86.4%
1~4月累計(人)		143,998 ▲51.5%	145,063 ▲12.6%	760,000 ▲30.8%	233,171 ▲28.9%	154,428 ▲48.6%	1,436,660 ▲34.4%

4月の主要観光地(ニューレオマワールド含む)の入込客数は、前年同月比▲86.4%と2カ月連続で減少。新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月後半から各観光地は臨時休園となり、栗林公園は同▲84.5%、琴平(金刀比羅宮)は同▲93.3%、ニューレオマワールドは同▲93.5%と大幅に減少した。

●延べ宿泊者数



3月の延べ宿泊者数は202,510人で、前年同月比▲51.2%と4カ月連続で減少した。うち、外国人延べ宿泊者数は、5,480人となり、同▲90.9%と2カ月連続で減少した。